

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								3.1
Q1 室内環境					0.40		-	3.1
1 音環境				2.1	0.15	2.3	1.00	2.1
1.1 騒音				3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音				1.8	0.40	2.3	0.40	
1 開口部遮音性能				3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能				1.0	0.60	2.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	3.0	0.20	
1.3 吸音				1.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境				3.1	0.35	2.6	1.00	3.0
2.1 室温制御				3.2	0.50	3.4	0.50	
1 室温				3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能		窓SC=0.50窓U=2.67外壁U=0.90屋根U=0.30		4.0	0.25	4.0	0.43	
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式				3.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境				3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
3.1 昼光利用				4.2	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率		診療室)機能訓練室6.77%、外来待合)デイルーム2.57%、専有部)療養室2.43%		5.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口					-		-	
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策				4.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御		庇(バルコニー)+カーテン		4.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境				3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策				4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆建材を全面的に使用		4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気				2.0	0.30	3.0	0.38	
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		自然換気(有効な窓を設置(1/10以上確保))			-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.50	1.0	0.33	
4.3 運用管理				5.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視					-		-	
2 喫煙の制御		全館禁煙		5.0	1.00		-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.3
1 機能性				3.4	0.40	3.2	1.00	3.3
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性					-	3.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応				3.0	1.00		-	
3 バリアフリー計画					-		-	
1.2 心理性・快適性				4.0	0.30	3.5	0.40	
1 広さ感・景観					-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース					-		-	
3 内装計画		建物全体のコンセプトや機能が明確であり、内装計画に反映している		4.0	1.00	4.0	0.50	
1.3 維持管理				3.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		トイレは清掃しやすい内装材、外部に水切などを用い維持管理に配慮		4.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30		-	3.0
2.1 耐震・免震				3.0	0.50		-	
1 耐震性				3.0	0.80		-	
2 免震・制振性能				3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		厨房排気ダクトはステンダク外使用		5.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水汚水雑排水管の主要用途3種についてB以上で、Eは不使用 給水:H1VP 汚水雑排水:VP		5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.20		-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備	2.8	0.20	[Cross-hatch pattern]	-	3.7
	2	給排水・衛生設備	3.0	0.20		-	
	3	電気設備	2.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法	3.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備	3.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備	3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.6	0.30	4.2	1.00	3.7
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり	4.6	0.30	3.4	0.50	3.7
	2	空間の形状・自由さ	5.0	0.60	3.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	5.0	0.50	3.7
3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性	3.0	0.20	-	-		
2	給排水管の更新性	3.0	0.20	-	-		
3	電気配線の更新性	ケーブルラック・天井内転シ配線・OAフロアの採用	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	ケーブルラック・天井内転シ配線・OAフロアの採用	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			4.0	0.50	-	-	3.5
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI _m 0.71 外部からの熱負荷に配慮	4.0	0.20	-	4.0
2 自然エネルギー利用			中庭を介しての自然採光	4.0	0.10	-	4.0
3 設備システムの高効率化			BEI _m 非住宅 0.89 住宅(専有部) -	4.0	0.50	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)			BEI _m 0.89 高効率設備を中心に採用	4.0	1.00	-	4.0
集合住宅の評価(3c)				[Cross-hatch pattern]	-	-	
4 効率的運用			2.0	0.20	-	-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00	-	-	2.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			[Cross-hatch pattern]	-	-	-	2.0
4.1	モニタリング		[Cross-hatch pattern]	-	-	-	
4.2	運用管理体制		[Cross-hatch pattern]	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			4.0	0.40	-	-	3.4
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	3.4
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.5	0.60	-	-	3.5
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	3.5
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	3.5
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			再生粒度調整砕石、再生クラッシュラン:路盤	3.0	0.20	-	3.5
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			持続可能な森林から産出された木材の使用比率が50%以上	5.0	0.10	-	
OAフロア採用			5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	3.0
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	3.0
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率=91%	3.3	0.33	-	3.3
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	3.0
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	3.0
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	3.0
3 交通負荷抑制			5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	-	
敷地内に駐輪場、駐車場を配置、搬入車両用スペース考慮							
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	3.2
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	3.2
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	3.2
2 砂塵の抑制			[Cross-hatch pattern]	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	3.2
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			光害チェックリストを過半満たす、広告物照明がない	5.0	0.70	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	